

数理的造形の研究

研究分野: ジェネレーティブ・アート 数理的造形 芸術工学

キーワード: 自由な発想 抽象的CG プログラミング セレンディピティ

貢献できるSDGsの区分:



情報システム学部 情報システム学科 教授 金子 照之

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/kane-teru/>

研究概要

フラクタル、カオス、複雑に組み合わせた関数、独自に定義した超複素数など、数学的手法による数理的造形を研究しています。研究者というより、デジタルアーティストとして活動していて、個展やグループ展などでの作品発表や様々なコンペに応募し続けています。国内外で多数受賞。数理的造形のためのアルゴリズムを考案することも楽しく、Linuxパソコンを駆使して、C言語、JavaScript、shell script、Pythonなどで描画プログラムを自作し、抽象アートのシミュレーションを繰り返し、パラメータを調整していきます。自由な発想によるコンピュータグラフィックスに没頭しています。数理的造形によって新たな抽象アート領域を切り拓くことに取り組んでいます。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- 自作プログラムによる数理的造形の体験ワークショップ
- 数理的造形の講演

外部との連携実績等

- 青少年のための科学の祭典への「きれいなもようをえがこう」ブース参加
- 高校での出前講義や市民講座での数理的造形の解説
- 国内外での作品展示、アート交流